

# Israel Monthly Trends

2026年3月

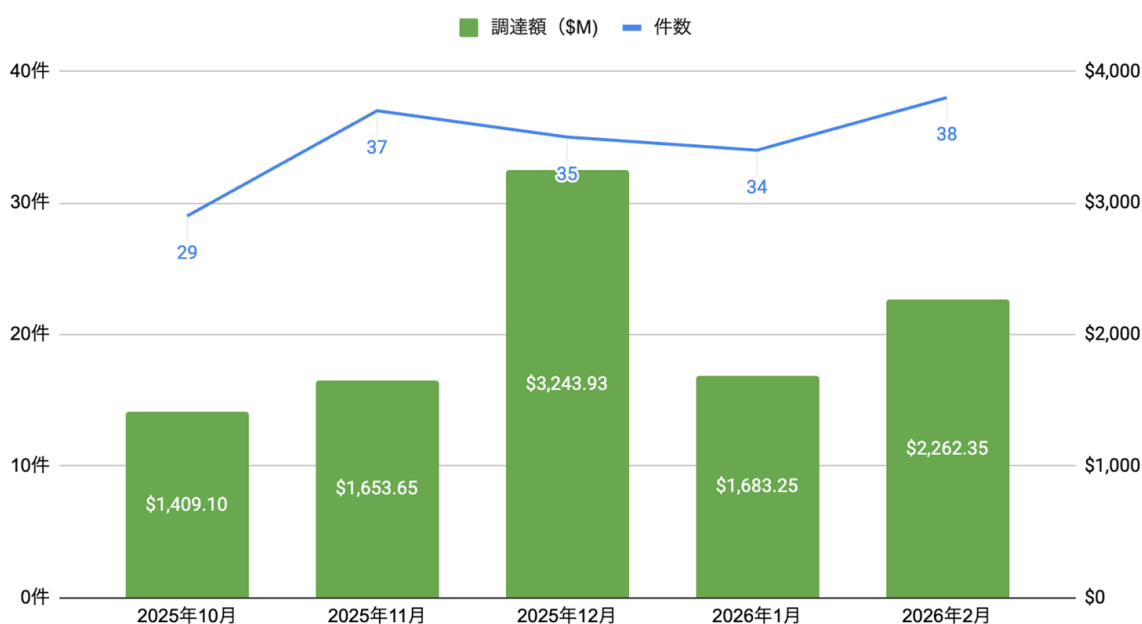
## 目次

- |                       |     |
|-----------------------|-----|
| 1. イスラエルの現在の状況_3月     | p.2 |
| 2. 今月の注目テーマ： ロボティクス   | p.3 |
| 3. ロボティクスに関連するスタートアップ | p.4 |

## 1. イスラエルの現在の状況\_3月

2026年1月16日から2026年2月15日におけるスタートアップへの資金調達動向は、案件数が38件で、調達額の合計は22億6,235万ドルであった。前期（2025年12月15日から2026年1月16日）の資金調達（34件・16億8,325万ドル）に比べて、案件数、調達総額はともに増加した。

### イスラエル・ハイテク企業 月別資金調達推移



本レポートの毎月のデータ収集期間は、前月16日から当月15日までとなる。

2026年1月中旬から2026年2月中旬にかけては、エンタープライズソフトウェア・インフラ分野が市場を牽引した。Pagaya社がデットファイナンスで8億ドル、Upwind社がセカンドラウンドで2億5,000万ドル、Fundamental社がファーストラウンドで2億2,500万ドル、Tomorrow.io社がシックスラウンドで1億7,500万ドルを調達し、同分野における大型案件が市場全体の資金流入を力強く押し上げた。

## 2. 今月の注目テーマ：ロボティクス

ロボティクスおよび協働ロボット（Cobots）とは、センサー、制御技術、ソフトウェアを組み合わせ、人間の作業を支援または代替する機械システムを指す。従来の産業用ロボットが安全柵内での自動化を前提としていたのに対し、Cobotsは人と同一空間での協働を前提に設計されており、柔軟性と導入容易性を特徴とする。イスラエルでは、AI、コンピュータビジョン、高性能センサーを中核とした知能化・協働化・ソフトウェア化が進展している。ロボティクスは、デジタル技術を現実世界の価値へ転換する基盤技術として位置付けられている。

### 主要な取り組みと成果

主要な取り組みと成果として、イスラエルのロボティクス分野は産業製造、物流、医療、農業、サービス分野へと展開している。2019年以降、国内のロボティクス関連スタートアップ数は約3倍に増加し、単一用途型ロボットから複数用途に対応するプラットフォーム型への移行が進んでいる。特にAGVやAMR、協働ロボットの分野では、動的環境への適応力と導入の迅速性を重視した技術が市場評価を一段と高めている。

RGo Robotics社は、外部インフラに依存しない自己位置推定と環境認識を可能にするPerception Engineを開発し、倉庫や工場における導入コストと運用負荷の低減を実現している。Caja Robotics社は、複数ロボットを群として制御する自動倉庫システムを提供し、Eコマース向けフルフィルメントの処理能力向上と省人化を進めている。Pashoot Robotics社は、ノーコード型の協働ロボットにより、多品種少量生産を行う中小製造現場への自動化導入を後押ししている。これらの事例は、技術開発と現場課題の解決を直結させるイスラエル型ロボティクスの特徴を示している。

イスラエルのロボティクス分野の基盤を支えているのは、産学官が連携する研究・事業化構造である。Technionは群制御や経路最適化、強化学習を活用したロボット制御研究を進めている。Tel Aviv Universityは、ヒューマン・ロボット・インタラクションや把持操作など人間中心設計の応用研究を強みとし、Weizmann Institute of Scienceは神経科学とAIを融合した基礎研究を通じ、群知能や動作計画の理論構築を担っている。

### 今後の展望

今後の展望として、協働ロボットの高可搬化と安全性向上、ソフトウェアプラットフォームによるフリート管理の高度化が進む見通しである。クラウド連携や遠隔監視の普及により、ロボットは単体機器から群として最適化されるシステムへと進化すると考えられる。加えて、軽量かつ高信頼性が求められる材料技術の進展により、導入領域は中小工場やサービス分野へ拡大する見込みである。これにより、イスラエル発のロボティクスおよびCobots技術は、グローバル市場での存在感を一段と高める可能性がある。

出典：<https://irob.org.il/robotics-as-an-economic-growth-engine/>

## 3. ロボティクスに関連するスタートアップ

- **RGo Robotics Ltd.**

(<https://www.rgorobotics.ai/>)



RGo Robotics社は、屋内環境における自律移動ロボット向けの認識・自己位置推定ソフトウェアを開発する企業である。外部インフラや事前マッピングに依存しないPerception Engineを中核技術とし、複雑かつ動的な環境下でも安定した走行を可能にしている。倉庫や工場などレイアウト変更が頻発する現場において、導入コストと運用負荷の低減を実現しており、物流・製造分野を中心に実装が進んでいる。今後は、グローバルパートナーとの連携を通じた適用領域の拡大が見込まれている。

- **Xpand Ltd.**

(<https://xpand.us/>)



Xpand社は、無人型かつ柔軟に展開可能なリテールフォーマットを通じて、小売事業者の市場展開を支援する企業である。プラグアンドプレイ型の無人ユニットを提供しており、新規立地への迅速な出店や、需要に応じた再配置を容易にしている。これにより、不動産活用の最適化と消費者へのアクセス向上を実現している。24時間営業を最小限の運用負荷とコストで可能にする点が特徴であり、収益性の向上と顧客接点の拡大に寄与している。

- **Get Fabric**

(<https://www.getfabric.com/>)



Get Fabric社は、小売業向けの在庫可視化と需要予測を支援するAIベースのデータプラットフォームを提供する企業である。ロボティクスや自動化システムと連携可能なソフトウェア基盤を通じて、店舗および倉庫在庫の精度向上とオムニチャネル運用の最適化を支援している。リアルタイムデータ分析により、欠品や過剰在庫の抑制に寄与している点が特徴である。今後は、物流自動化との統合を通じた小売業務全体の効率化が見込まれている。